



令和5年度 古河市立古河第二中学校の教育

【本県の教育目標】

ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し協力しあう心を育てる
【第2次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦】
次世代を担う「人財」の育成
○「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進
○新しい時代に求められる能力の育成
○地域力を高める人材育成

【古河市の学校教育目標】

○一人一人の個性や能力を伸ばし、確かな学力をはぐくむ
○健やかな体をつくり、たくましい心を養う
○郷土古河を愛し、豊かな心をつちかう

校訓

伸びよう

鍛えよう

助け合おう

教育目標 社会をたくましく生ききる生徒の育成

めざす学校の姿

- 活力にあふれ、挑戦できる学校
- 誰もが安心して生活できる学校
- 家庭・地域とともにある学校

めざす生徒の姿

- 主体的に学び、活動できる生徒
- 自らの行動に責任をもてる生徒
- 多様な価値観を認め、自他共に尊重できる生徒

めざす教師の姿

- 使命感と情熱をもち学び続ける教師
- 教育のプロとしての専門性を身に付けた教師
- 地域や保護者、生徒、同僚から信頼される人間性豊かな教師

本年度の指導の重点

基本的な知識・技能の定着（活動時間の保障） 社会性の向上（協働活動の活性化） 自己肯定感の向上（グループ活動の充実）

- 組織目標** ○生徒たちが意見の交流をとおして、課題を解決することができるよう交流の場の工夫及びその機会を多くする。
○恒例行事等の教育効果の検証をとおして、業務の精選・改廃、日課の工夫等を行い、働き方改革を推進する。

確かな学力を伸ばす（知）

○考えてわかる、身に付く授業実践

- ※主体的・対話的で深い学びを目指した授業
- ・思考を促したり、知識・技能を活用したりする学習活動の工夫
- ・生徒が思考する時間、知識・技能を活用する時間の保障
- ・ICT機器の有効活用

○知識・技能の定着を図るアウトプットの機会の充実

- ・週1回の確認テストの実施
- ・学期1回のチャレンジテストの実施

○規律ある（学習）態度の育成

- ・「3・2・1運動」で授業開始、終了
- ・1日2ページの家庭学習の呼びかけ
- ・家庭学習の手引きの配付
- ・家庭学習の効果を高めるための助言

○個に応じた指導を行うための指導体制の充実

- ・教育活動指導員の適切な配置
- ・テスト前3日間の放課後学習相談の実施

○読書活動の推進（みんなにすすめたい一冊の本推進事業）

- ・50冊読破達成者への「しおり」授与
- ・読書カードの活用

心身の活力を高める（体）

○体力を向上させる体育授業の充実

- ・運動量の確保（汗をかく授業）
- ・体力テストの結果の検証と学習活動の改善
- ・体育カードの作成と活用（単元、種目ごと）

○食に関する正しい知識を身に付ける食育の充実

- ・放送による栄養指導の実施
- ・給食の残量調査

○教育活動全体を通じた健康・安全・防災教育の継続的指導

- ・自然災害（地震・洪水）と人的災害（火災・不審者）を踏まえた避難訓練
- ・うがい・手洗い・消毒の習慣化
- ・エビデンスに基づいた感染症・熱中症予防のための取組

○効率的・効果的な「考動力」を育成する部活動

- ・外部指導者、部活動指導員（専門家）の積極的導入
- ・部活動ごと、また部員一人一人が明確な目標をもち取り組む活動の工夫
- ・主体的に活動できるよう生徒の心に火をつける指導の工夫

自他を思いやる心を育てる（徳）

○心の居場所となる学級づくりの推進

（自他敬愛できる学級）

- ・年間6回の生活アンケートの実施
- ・インターネットを介した相談窓口の開設
- ・年間3回の二者（教師と生徒）面談の実施
- ・エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの実施

○人権感覚を磨くための教育の充実

- ・外部講師を活用したいじめ防止フォーラムの実施
- ・人権標語、絵画、作文等のコンクールへの積極的な応募
- ・人権啓発動画鑑賞や人権フォーラムの実施
- ・SNS等による人権侵害を防ぐためのサイバー教室の実施

○生徒自らが学校生活をよりよくしようと する特別活動の充実

- ・生徒たちが主体的に運営・協働する生徒会活動
- ・生徒自らが学校の課題を解決する生活向上委員会の新設

○規律ある（生活）態度の育成

- ・あいさつ運動（小中連携）の実施
- ・生徒会主催による校内あいさつ運動の推進
- ・校則の意味・意義等を考える場の設定

情報発信・受信

- 各種たより、ホームページ、メール等による情報発信
- 学校公開（授業参観、懇談会、ファミリンピック、鴻鳥祭）による生徒の活動の紹介・共有
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や第4地区コミュニティとの情報交換
- 保護者による学校評価の公表と教育活動の改善

信頼される学校

- 保護者の思いを汲み取った誠意ある適切な対応
- 教職員の資質向上と服務規律の確保
- 危機管理意識の向上と生命を守る指導の徹底

地域との連携

- 地域を知り地域から学ぶ教育活動の推進
- 地域の人材の積極的な活用
 - ・少人数指導
 - ・ゲストティーチャー
 - ・国際教育支援
 - ・保幼小中の連携
- 部活動の地域移行に向けた

生徒一人一人を大切に する学校づくりを推進します